

ほんよも No. 027



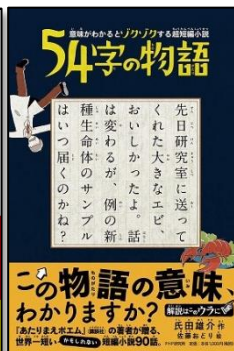
桂陽高校図書室キャラクター
「ほんよも」

文化部局発表会、 ありがとうございました！

5月27日に行われた文化部局発表会で、図書局は3人の局員が本の紹介をさせていただきました。あんな発表内容で大丈夫なのかな、と心配していましたが（特に局長）、意外に好意的な感想が多く、局員一同喜んでいきます。

あの時、局員が紹介した本を改めて載せておきます。気になった人はぜひ図書室へ！

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1A 田口 温巳 | 『むらさきのスカートの女』（今村夏子） |
| 2D 畑村 大和 | 『今日、となりに君がいない。』（清水苺） |
| | 『空の境界』（奈須きのこ） |
| | 『頭に来てアホとは戦うな！』（田村耕太郎） |
| 3A 石垣真綾弥 | 『54字の物語』（氏田雄介） |
| | 『童貞の疑問を解決する本』（AM 編集部） |



今回の図書だよりでは、1A 田口温巳が取り上げた『むらさきのスカートの女』を紹介します。

～日常にひそむ狂気を淡々と描く～

『むらさきのスカートの女』（今村夏子）

内容・あらすじ

いつも紫のスカートをはいているため、近所の子どもたちが「むらさきのスカートの女」と呼んでいる女性。「わたし」はこの女性が気になって仕方がない。「わたし」は彼女と友達になるために、彼女の行動を観察し、記録し、自分と同じ職場で働き出すように仕向ける。ねらい通りに自分の職場に就職した彼女と友達になるチャンスがうかがう「わたし」だったが、そのうち事態は思わぬ方向に動き出し……。

川口先生の感想

芥川賞受賞作、そして TikTok の有名な書評家が紹介したことで一気に有名になった小説です。

どのジャンルに位置づけたらよいか、わからない作品です。私はある意味ホラー小説ではないかと思います。読んでいる最中、頭の中でずっと「世にも奇妙な物語」のテーマ音楽が流れていました。図書館員・田口が「いろいろやべーしすごいんだよ！」とスライドに書いていましたが、本当にその通り。次から次と色々な出来事が起こり、しかもその出来事をどう解釈していいのか、わからなくなります。明快なオチや種明かしがあるわけではなく、読み終えてもずっと心に刺さったままモヤモヤする、そんな作品です。これも田口が言っていた通り、非常に読みやすい文章です。早い人なら1時間程度で読めてしまうでしょう。読みやすいのに、内容は混沌としていてどこか不気味。読み終えた人と感想を語り合いたくなります。



図書購入希望リクエストはこのフォームで受け付けています！→

